

HIV

地域連携に携わる

ソーシャルワーカーと看護師等を対象にした HIV/AIDS 実践報告・検討会

対象(いずれかに該当される方)

- ・広島県近郊の医療機関等に勤務し、地域連携で前方/後方支援を行うソーシャルワーカー、看護師、その他関係スタッフ
- ・これまでに HIV 疾患患者の受入れの打診をされたことがある方
- ・受入れの打診に対して、対応策が分からない方、これから学びたいとお考えの方ならどなたでも



開催日程

日時：2025 年 9 月 26 日(金)
受付 13:30
開始 14:00~16:30

場所：広仁会館 [読み:こうじん]
広島大学病院敷地内
広島市南区霞 1-2-3

参加費：無料

お土産付き

HIV/AIDS 関連冊子、グッズ、
相談先一覧等

<問合せ先>

広島大学病院 エイズ医療対策室
Tel: 082-257-5351
担当：重信、浦島

開催目的：患者受け入れの問題点と対策を学ぶ

- HIV/AIDS 疾患患者の背景・問題点を知る
- 地域連携を担うソーシャルワーカーと看護師等が、患者支援において果たせる実践方法を学ぶ

HIV 疾患はいまや慢性疾患となり、患者は併発疾患の治療を地域医療機関で受けることが多くなりました。エイズ診療拠点病院などが HIV 診療を担っていますが、非拠点病院においても併発疾患の治療をメインに受け入れをしていただくことが多くなりました。

HIV/AIDS を知らないままにせず、自分たちの支援対象者として考えるために支援実践を共に学びませんか。疾患への差別・偏見のあった時代から、地域で共に過ごす時代へのシフトを共に目指させてください。

プログラム

- ①開会挨拶 広島大学病院 エイズ医療対策室長 藤井 輝久医師
- ②HIV/AIDS 疾患患者の受入れ実践報告
 1. 広島パークヒル病院 岡本 隆司 SW
 - 広島市立広島市民病院 米澤 美紀 SW
 2. 歓多希とまとの家 安原 桃暉 SW
 - 福山医療センター 木梨 貴博 SW
- ③HIV 陽性当事者による問題提起
- ④問題解決に向けた検討
 - ✓ 自院で患者を受け入れる際の課題とその対策とは
 - ✓ 地域で HIV 陽性者が安心して暮らすには
- ⑤閉会挨拶 広島県健康危機管理課 児玉博臣主査

お申込み

申込期日：2025 年 9 月 12 日（金）

申込み方法：下記 URL もしくは、右記 QR コードからお申込みください。

◆URL: <https://forms.office.com/r/0JtyTXYaAu>



主催：広島大学病院エイズ医療対策室・広島県エイズ受託研究事業「厚生労働省 HIV 感染者・エイズ患者の長期療養体制構築事業」

共催：県立広島病院・広島市立広島市民病院・福山医療センター・呉医療センター・広島県・広島市・呉市保健所・福山市保健所・広島県医療ソーシャルワーカー協会・（一社）広島県精神保健福祉士協会